

# ができるまで。

～170の「然」はこのようにつくられた～

「然」は、市の観光振興のためのブランドづくりとして2013年秋にスタートした事業です。『人』をブランド化するという、これまでにない観光振興の取り組みは全国でも少なく、テレビ番組の取材や他市町村の視察が多数あるなど、事業開始以来、他方から注目を浴びています。

この事業は、基幹産業の一つである観光業の面において、美しい自然や歴史文化など数多くの観光資源がある中でも、これらを築いている市民一人一人が主役であり、財産であり、主役であることを再認識してもらおうと始まった取り組みでもありません。

事業開始から2年半が経ち、「然」に認定されたのは170人を超えました。一人一人にそれぞれの人生とストーリーがあり、それを掘り起こすのはプロの作家とプロの写真家。今回は、「然」の取材に同行し、ポスターが完成するまでを取材しました。また、「然」を活用した観光振興の取り組み事例や今後の展開などもお知らせします。

3



## 取材・写真

クリエイティブディレクターの曾谷哲朗氏が写真を担当。「写真は形ではなく気配を感じて撮る」と、カメラマンとしても定評のある同氏が、イキイキとした表情を切り取ります。

2



## 取材・文章

コピーライターの植松二郎氏が30分程度取材。その人の魅力を存分に引き出し、文章を書き上げます。「阿蘇の人は大らかな人が多い」と植松氏。一人一人丁寧に取材を行います。

1



## 「然」の選定

「然」の取材は随時行っています。阿蘇市で輝いている人全てが対象です。自薦他薦は問いません。担当者が取材をご依頼することもあります。

認定されて終わりではない。「然」はこのように活用されています。



「然」は、地域づくり団体や職場のグループ、中には小学校のクラスなども認定しています。この事業の目的の一つには、「然」に認定されることで、今後もより一層頑張っ活躍してもらいたい」という願いも込められています。認定を受けた「然」というブランドを一つのきっかけとして、ぜひ、それぞれの活動に活かしてください。

「然」を地域おこし、観光に。



「然」を商品の付加価値に。

「然」の方々がつくる商品や食材などを対外向けに発信しています。最近では東京都荒川区内の施設落成に伴い、物産を販売しました。また、菊陽町の大型ショッピングセンター内では、「然」フェアと題し物産を販売。波野の無農薬野菜をはじめとした各商品がのきなみ好評で、買物客からも大変評価が高く、今後も、このような取り組みを行い、「然」のPRを図っていきます。

あなたの輝きが  
阿蘇市の活力に！

**取材進行中！**

「然」の取材は、現在も随時行っています。

自薦他薦は問いませんので、この記事をご覧になって「我こそは！」「あの人を取り上げてもらいたい！」などございましたら、ぜひご連絡ください。

主人公は“あなた”です！

.....

(問い合わせ)

市役所観光課 ☎ 22-3174

5



**納品**

縦 70 ㉿ × 横 50 ㉿ のポスターを、額縁に入れた認定書とともに直接お届けします。波野で奥様とともにカフェを営む松本洋次郎さんは、ポスターを受け取り「素晴らしい！一層やる気が起きます」と感激していました。

4



**ポスター制作**

写真と文章を組み合わせ、一人一人に合った 1 枚のオリジナルポスターを制作。市と制作会社が入念に校正作業を行い、ポスターを完成させます。

## 熊本県市町村広報担当者による合同特集

若者と政治を結ぶ活動を行っている NPO 法人ドットジェイピー  
熊本支部に所属する大学生と共同で制作しました。

松永和さん

小野奈々実さん

岩元誠悟さん

長野大作さん

### NPO 法人ドットジェイピー

若年投票率の向上を目的に活動する NPO 法人。熊本を含む全国 21 支部のエリアで、大学生スタッフを中心に議員インターンシップや投票率アップを図る活動を行っている。

# 18 歳。だから、投票に行く

7月の参議院議員選挙から 18 歳以上の若者が投票できるようになります。

### VOICE

大学生に選挙について本音を聞きました



僕らの世代って選挙に関心ない人多いよね？



自分の一票でどう暮らしが変わるのか、実感が持てないんじゃないかな。



私もたった一票では何も変わらないと思ってた。以前、投票を呼び掛ける活動をしたけど若い人の反応は良かったよ。



なんで投票に行かないのかな？



日々の生活に不満があっても、どうしたらいいのかまでは考えないし、税金の使い道まで気にしてないんじゃないかな。



投票日の前に投票できる期日前投票もあるんだけどね。



面倒だよねえ

期日前投票に行く同級生は、ほとんどいないよね。期日前投票を知らない人も多いと思う。どうしたらみんな投票に行くんだろう？



身近なところで疑問を感じる場面やきっかけがあればいいと思うな。



大学や駅、スーパーなどに投票箱があればいいと思う。それに自分の声を代弁してくれる同世代の候補者がいるといいな。

身近にきっかけがあればなあ



投票箱

# 政治参加への第一歩

県選挙管理委員会に聞く

## 20代の低い投票率

県内の投票率は年々下がっています。前回の衆議院議員選挙の投票率は約50%、特に20代の投票率が3割を切る状況でした。

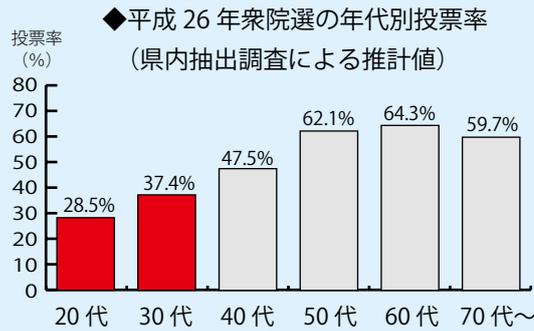
## 投票で自分の願う社会へ

投票は、自分の意見や願いを代弁する人を選び、自分の生活に反映させていく一つの方法です。意思表示をしないと、自分が願う社会になりません。

若い人たちも選挙に行つて自分の意志で代弁者を選んでほしいですね。投票は政治参加への第一歩。その権利を無駄にしないでください。



熊本県選挙管理委員会  
ひらはたまさき  
平畑 雅規 書記



## 若い人たちから関心を高めて

主権者意識の向上と投票参加を呼び掛けるため、高校で選挙の出前授業を行っています。一部の高校では期日前投票所の設置も予定されています。家庭などでも選挙を話題にして若い人たちから関心を高めてほしいですね。

私たちの権利なんだね



## 期日前投票と不在者投票

**期日前投票**とは、投票日に仕事や旅行などで投票できない場合、選挙公示日（告示日）の翌日から投票日の前日まで、市町村の役所などで投票できる制度です。**不在者投票**とは、不在者投票の手続きをすることで、選挙期間中に名簿登録地以外に滞在している人や病院などに入院している人が投票できる制度です。

若い人の投票率は低いんだね



# あなたの一票が 新しい未来をつくる

初めての選挙に行くばい！

一票くらいでは何も変わらないと思うかもしれませんが、しかし、若い世代が投票に行かないと、投票する世代だけのための政策が重視されてしまう可能性もあります。若い世代が活躍できる未来のためにも、あなたの声を政治に届けてみませんか。あなたの一票で新しい未来を——。

